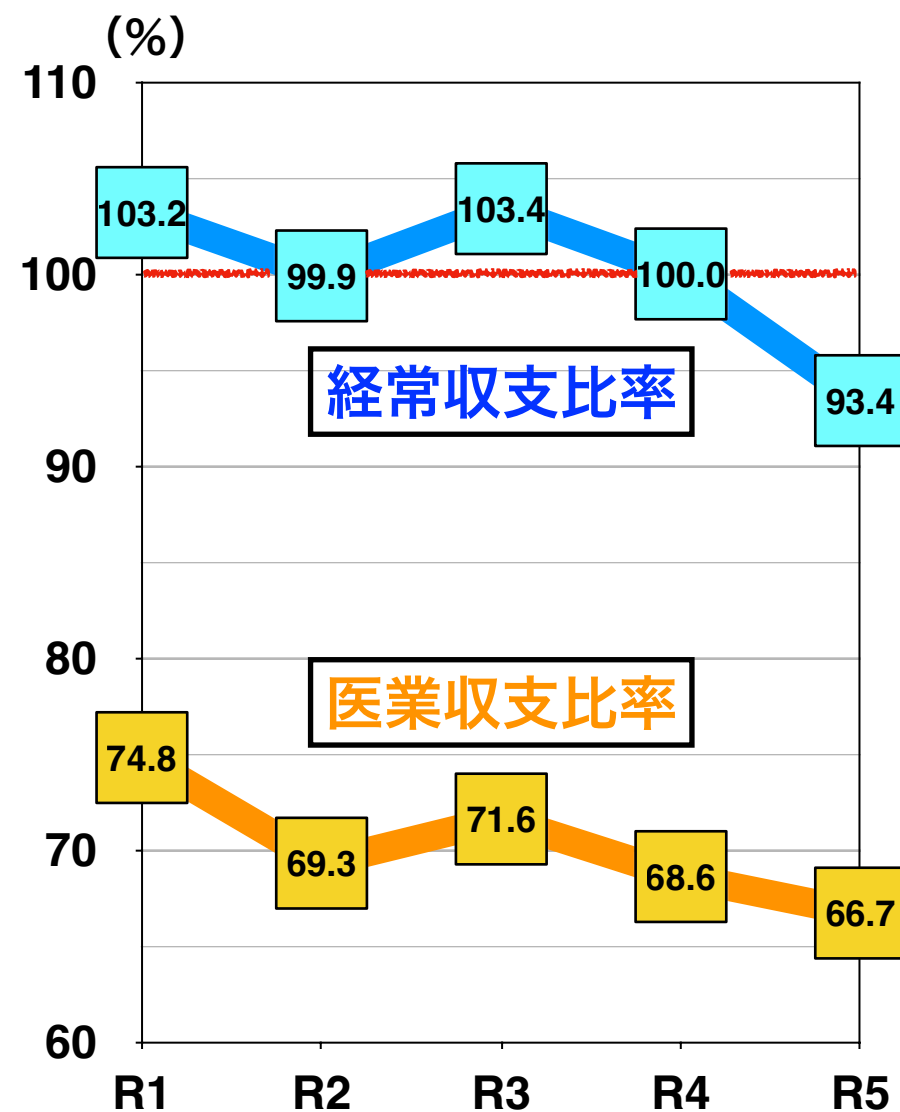


令和5年度業務実績等報告書 説明資料

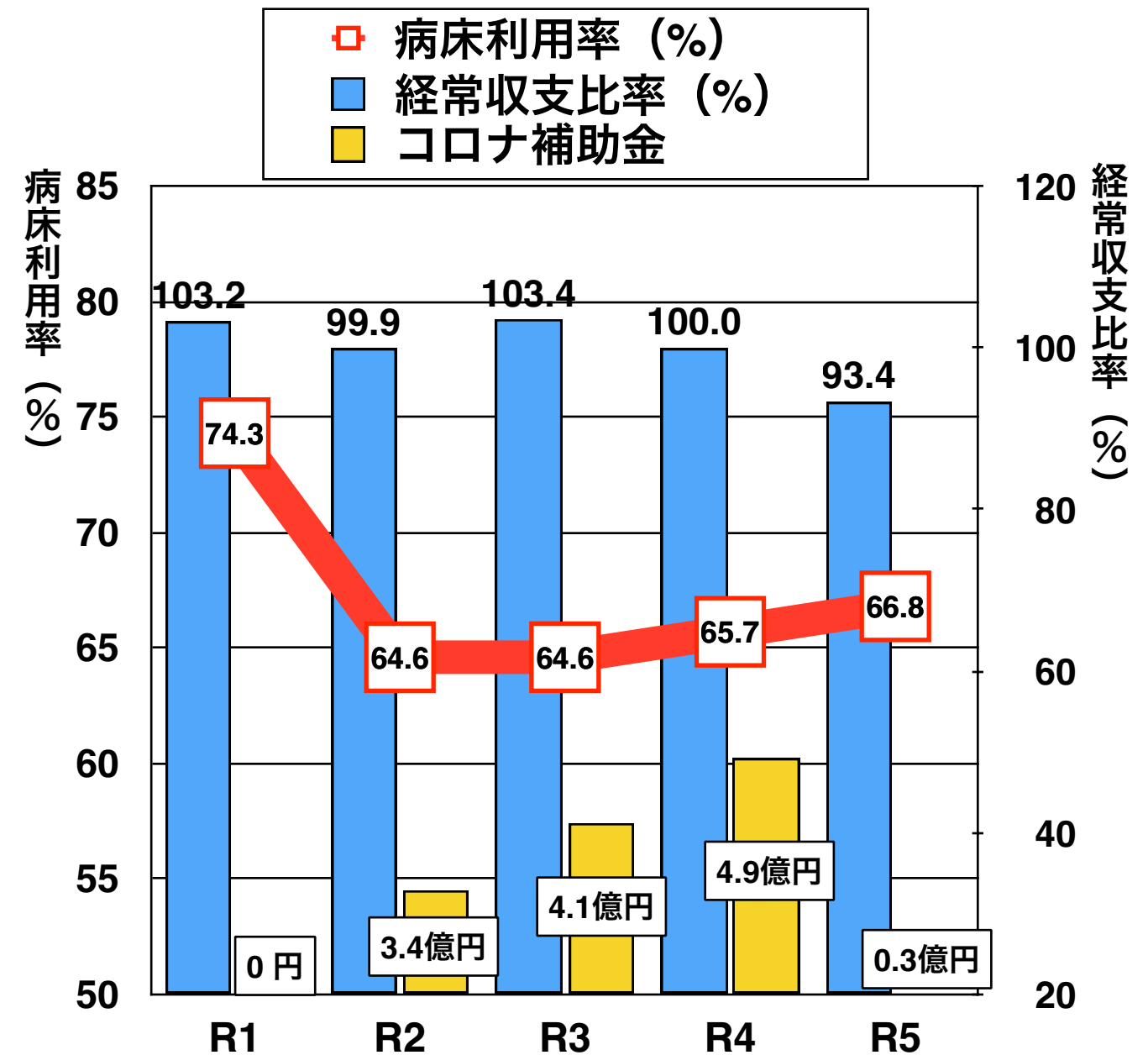
R5年度収益悪化の要因分析と対応策

1. 収益悪化の主要因は4つ、その関与比率は以下のとおり。
 - ① 人件費の増加（約5割弱）
 - ② コロナ前に比較した医業収益の減少（約3割）
 - ③ 経費の増大（約2割）
 - ④ その他営業外支出（損害賠償）
2. 人件費増加の主な原因は、医師の働き方改革対応による時間外勤務時間の増加、並びに雇用看護師人数の増加。
3. 医業収益の減少はコロナ後の診療レベルの回復遅延。
経費増大は物価高騰や委託費の増大など。
4. さらに、多額のコロナ補助金で収支悪化が経常収支に表れなかったこと、コロナ禍の少子化加速が背景要因。
5. この厳しい状況を契機に大胆な対応策が必要である。
要因分析に即した対応策を実施する。（別紙参照）

経常収支比率、病床利用率、コロナ補助金（R1～R5年度）



COVID-19

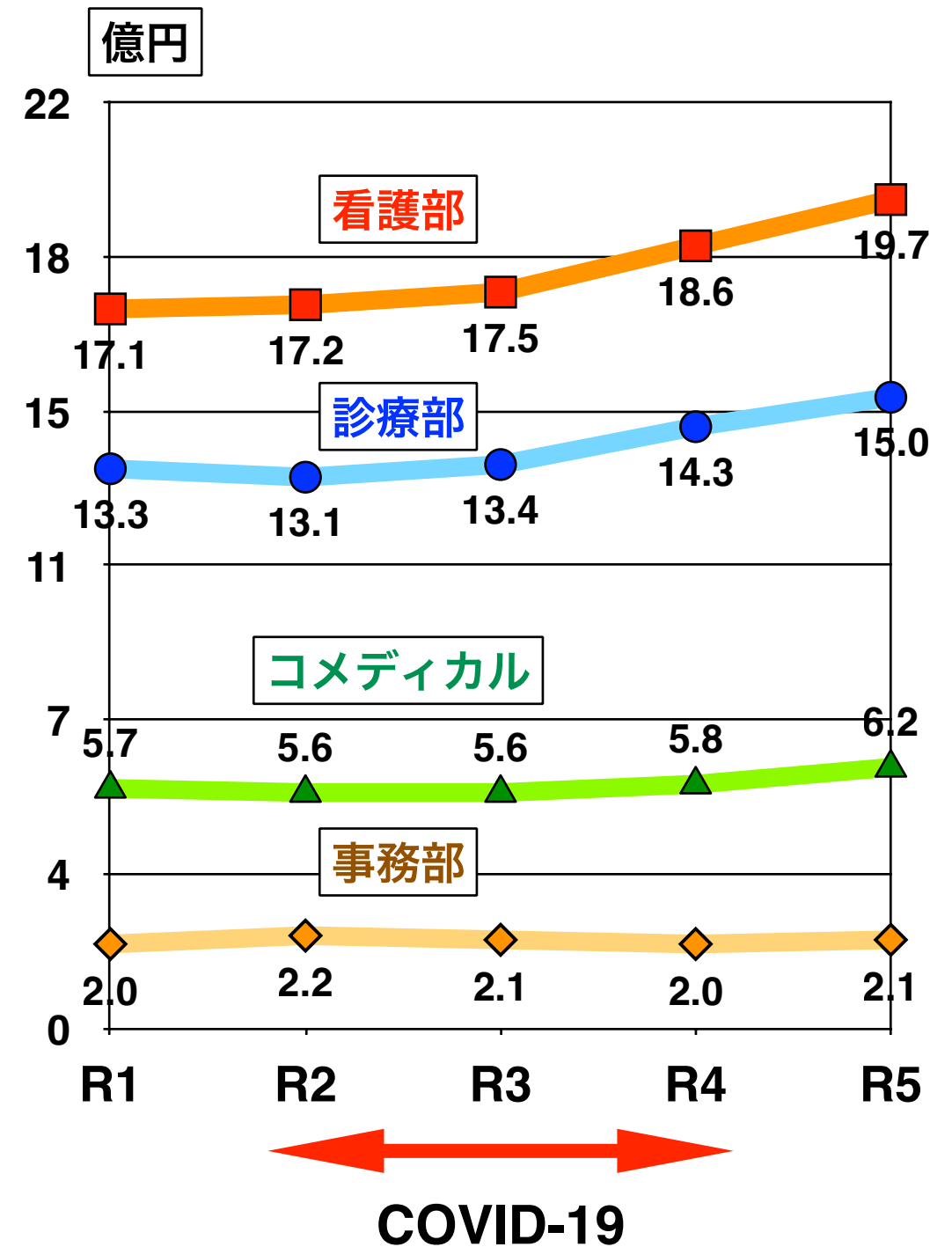


COVID-19

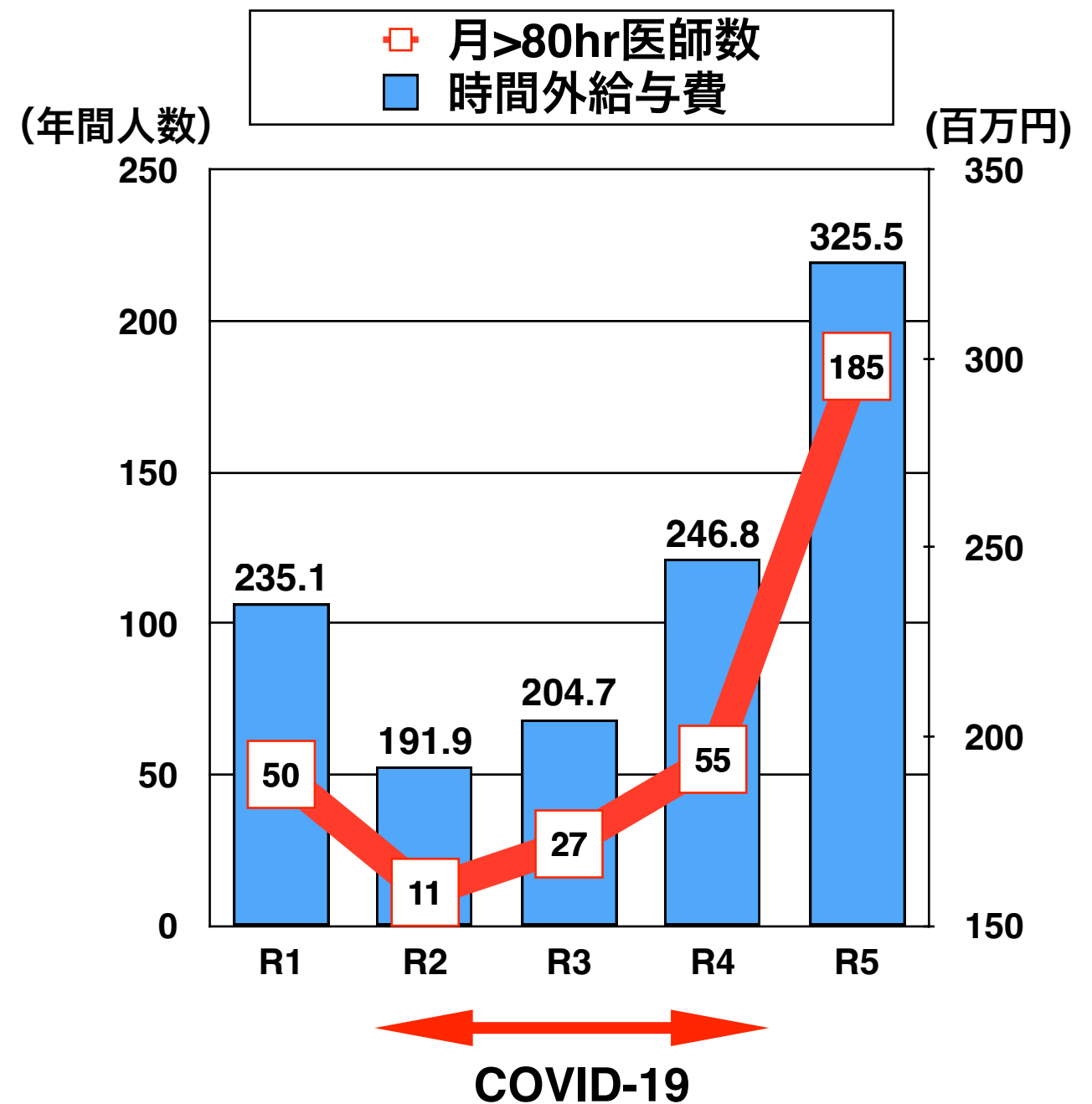
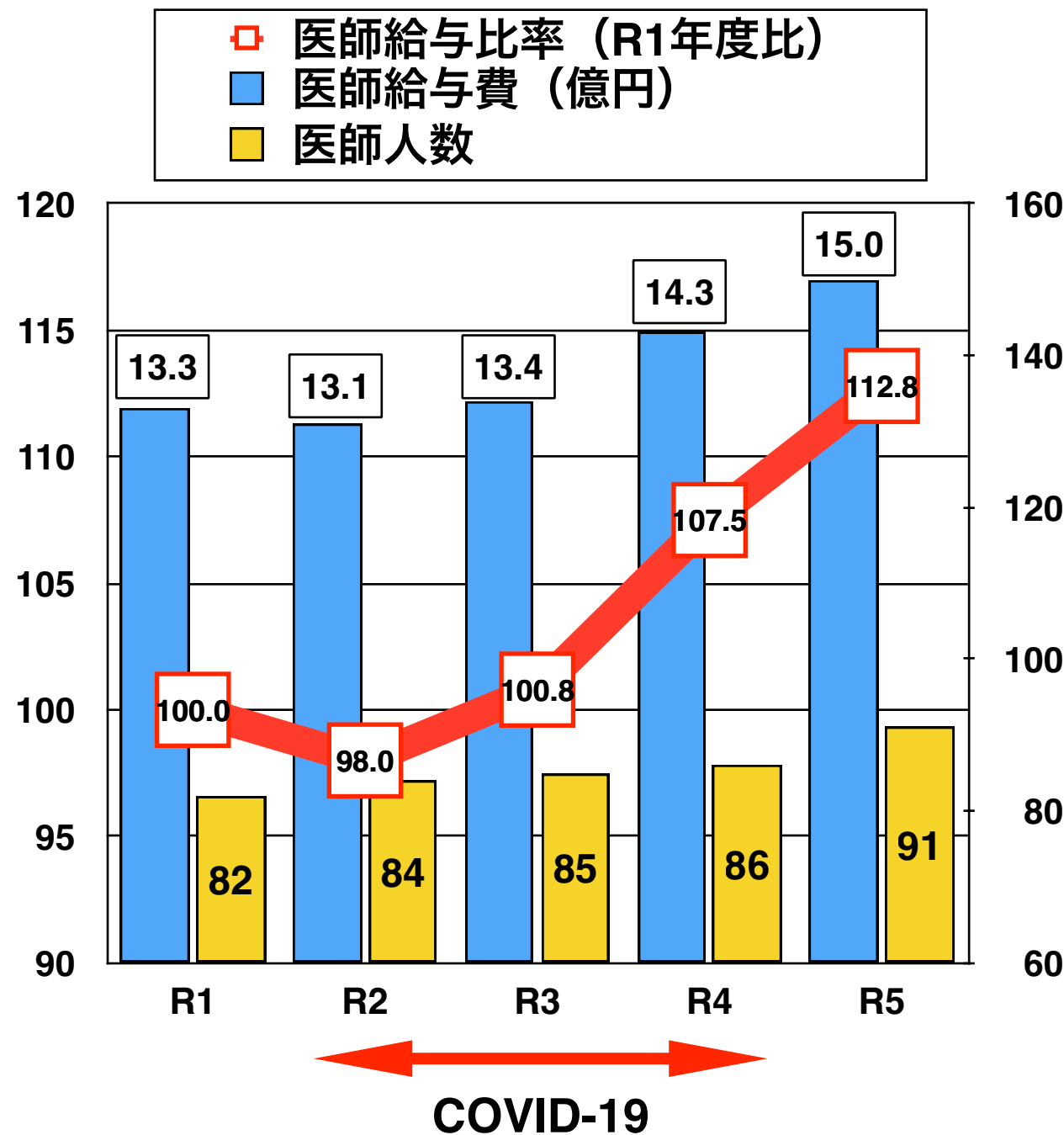
部門別人件費の推移（R1～R5年度）

人件費（億円）と年度別比率（R1=100）

	R1	R2	R3	R4	R5
診療部	13.3 (100.0)	13.1 (98.5)	13.4 (100.8)	14.3 (107.5)	15.0 (112.8)
看護部	17.1 (100.0)	17.2 (100.6)	17.5 (102.3)	18.6 (108.8)	19.7 (115.2)
コメディカル	5.7 (100.0)	5.6 (98.2)	5.6 (98.2)	5.8 (101.8)	6.2 (108.8)
事務部	2.0 (100.0)	2.2 (110.0)	2.1 (105.0)	2.0 (100.0)	2.1 (105.0)

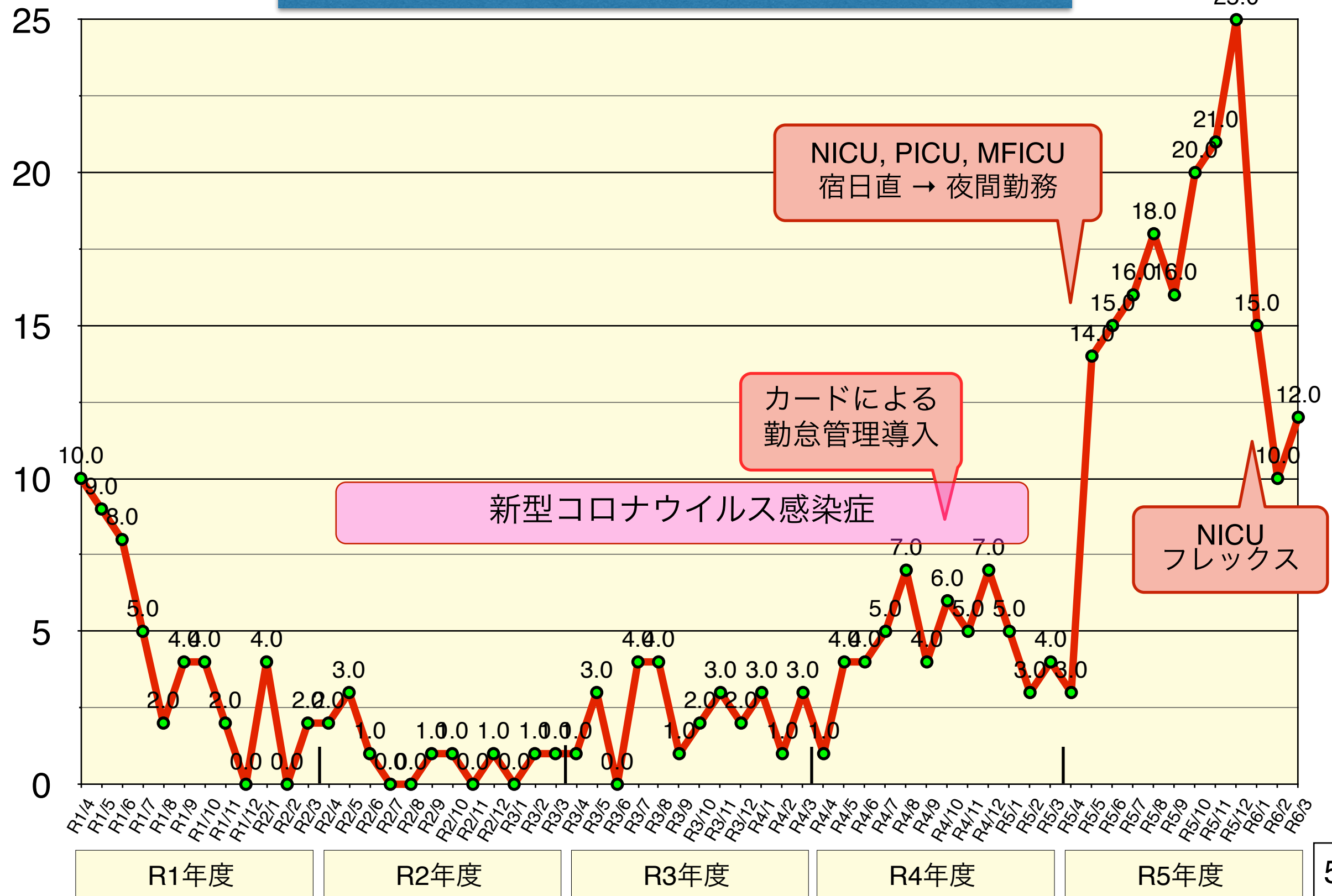


診療部人件費、時間外給与費と医師数の推移



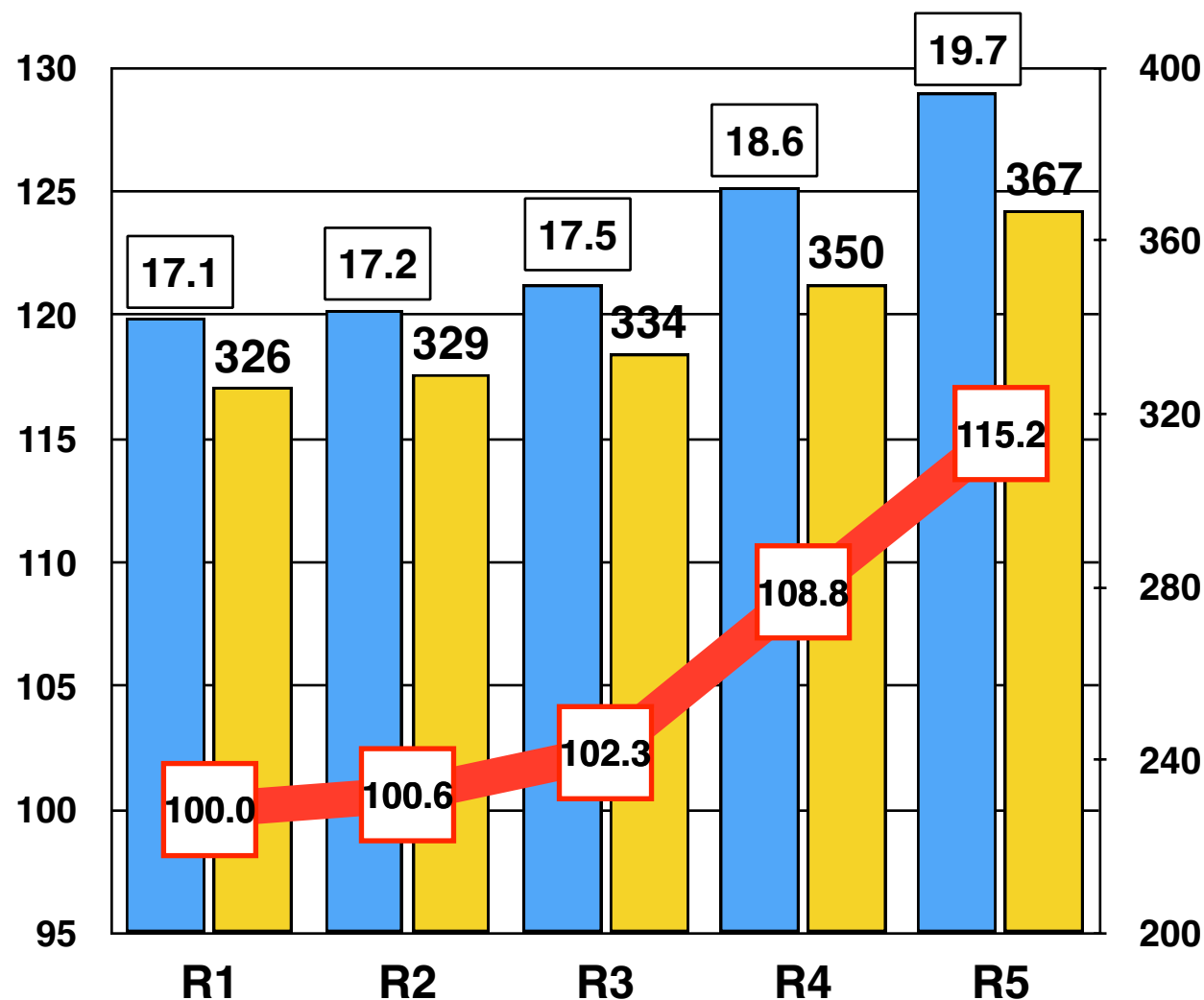
時間外勤務時間の月>80hrの医師数 (月別、実労働時間)

医師数/月

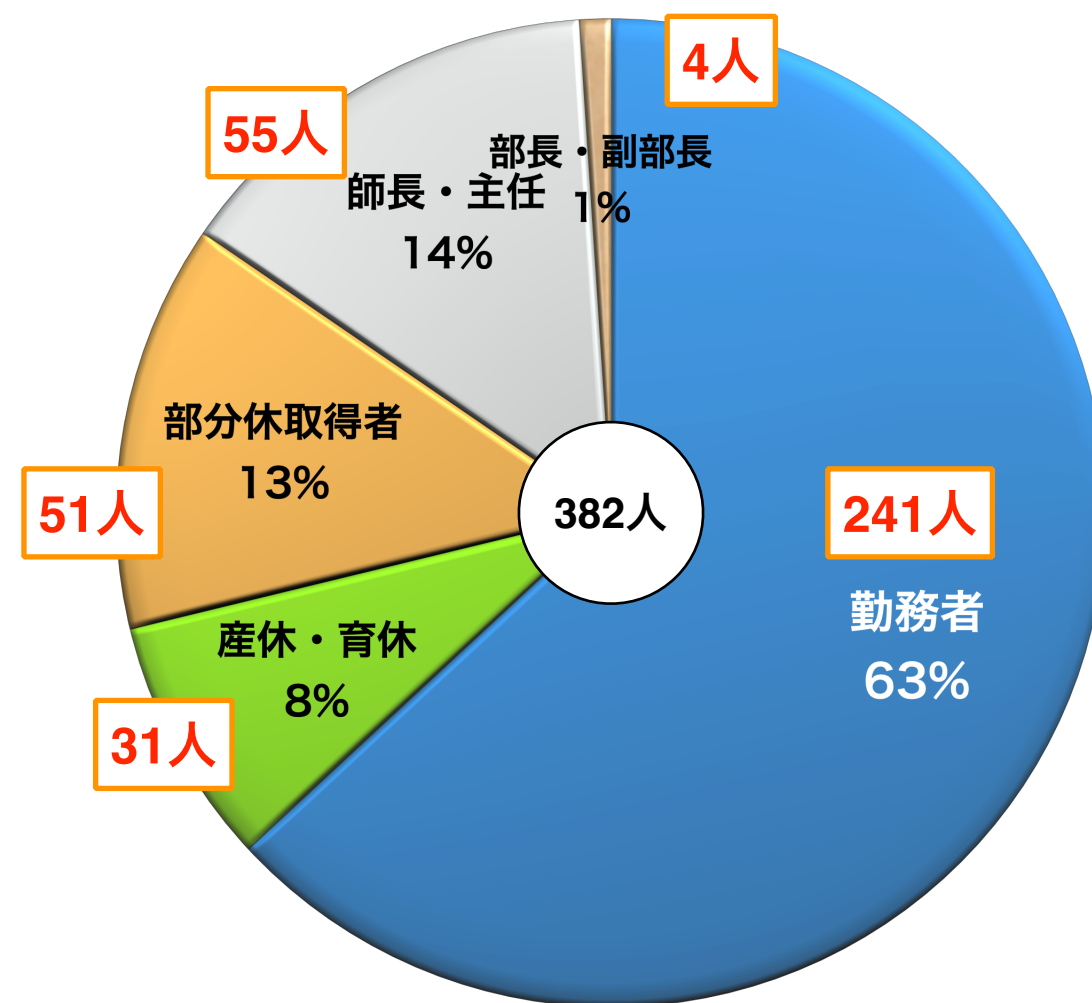


看護部人件費の推移と看護師数・勤務形態

- 看護部給与比率（R1年度比）
- 看護師給与費（億円）
- 看護師人数



COVID-19



看護師数（382人）と勤務形態（2024.4）